

FAQデモセットアップガイド

Current Document Version

Version 1.0	2019-04-19	Hiroshi Sato
Version 1.1	2019-12-13	Hiroshi Sato
Version 1.2	2020-4-16	Hiroshi Sato



Document Modifications

Version	Description of Change	Modified By	Date
1.0	First Version	Hiroshi Sato	2019-04-19
1.1	Changes for 2019.4	Hiroshi Sato	2019-12-13
1.2	User Password changed	Hiroshi Sato	2020-04-16



Table of Contents

FAQ デモセットアップガイド	
Document Modifications	2
はじめに	4
インターシステムズテクノロジーの情報ソース	5
デモアプリケーションのインストール	6
 Docker による自動インストール 	7



はじめに

今回公開する FAQ デモシステムは、インターシステムズのサイトで実際に運用しているシステムです。

以下の URL から使用することができます。

https://faq.intersystems.co.jp/

このアプリケーションは、非常に単純なものですが、それでも実際に運用するためには様々なことを 考慮に入れなければなりませんでした。

この開発、運用で学んだノウハウは、InterSystems IRIS データプラットフォームでシステム開発を行う皆さんにとっても有用な情報となるのではないかと考え、そのソースを公開することとしました。



インターシステムズテクノロジーの情報ソース

この文書では、実際にソースをコピーして、皆さんの環境にインストールし、動かしながら学んでもらうということを想定しています。

しかしながら、InterSystems IRIS Dataplatform を使うために必要な前提知識については触れません。

以下の資料を合わせて、ご参照いただければ幸いです。

https://www.intersystems.com/jp/learn-play/



デモアプリケーションのインストール

このデモを動かすためには、Docker が必要です。

Windows、MacOS 用のそれぞれの Docker をあらかじめインストールしてください。

https://docs.docker.com/docker-for-windows/install/

https://docs.docker.com/docker-for-mac/install/

デモを動作させるために必要なファイルは、Github 上にあります。

以下からダウンロードしてください。

https://github.com/wolfman0719/FAQDEMO

ダウンロードした ZIP ファイルを適当なディレクトリーに展開してください。



1. Docker による自動インストール

このシステムを実際に動かすためには、事前の設定が必要になります。

InterSystems IRIS Dataplatform が備えているインストーラーの機能と Docker の機能を組み合わせて、ほぼ全自動でアプリケーションの動作に必要なセットアップを行ってくれます。

ZIPファイルを展開した先頭ディレクトリ上の以下のファイルを実行します。

./build.sh

./run.sh

Protection エラーが発生する場合には、以下のコマンドで実行権限を付与してください

chmod 777 *.sh

Windows の場合には、

コマンドプロンプトにて、

build.sh

run.sh

を実行してください。

上記の処理が終了後ウエブブラウザーで以下の url を開いてください。

http://localhost:52775/csp/user/FAQ.FAQApp.cls

ブラウザ上に以下の様なログイン画面が表示されます。

ユーザー名: _system

パスワード: demosystem

を入力してください。



以下の様に表示されれば OK です。





とりあえず、アプリケーションを動かしながらソースを確認してみてください。

ソースの内容を確認する方法を以下に紹介します。

● Visual Studio Code と以下の VSCode-ObjectScript Support を組み合わせる方法

https://openexchange.intersystems.com/package/VSCode-ObjectScript

今後、ソースの内容に関する説明を追加していく予定です。